

# 群馬県の観光情報2月号

令和8年(2026)年2月17日  
群馬県東京事務所 政策調整第二係

## 今月の県発表

No.	情報提供元	内 容
1	群馬県立土屋文明記念文学館(高崎市)	特別展示「古今和歌集」「新古今和歌集」写本公開

## 今月の注目情報

No.	情報提供元	内 容	資料
1	群馬県立土屋文明記念文学館(高崎市)	特別展示「古今和歌集」「新古今和歌集」写本公開	P.1
2	〃	文学講座「賢治と朔太郎、くらべ読み」	P.1
3	道の駅まえばし赤城(前橋市)	デカ盛りグルメフェア	P.2
4	〃	まえばしいちごフェスティバルーin 道の駅まえばし赤城ー	P.2
5	原美術館ARC(渋川市)	展覧会「虹のつくり方」	P.3
6	〃	展覧会「安藤正子: 普通の日々」	P.3
7	高崎市榛名支所	第14回榛名山ヒルクライムin高崎	P.4
8	高崎市箕郷支所	第39回みさと梅まつり	P.4
9	群馬県高崎行政県税事務所(高崎市)	ナゾトキクエストinぐんま三大梅林2026	P.5
10	群馬県立日本絹の里(高崎市)	企画展「草乃しずか 日本刺繍展ー源氏物語を花で装うー」	P.5
11	かねふくめんたいパーク群馬(甘楽町)	来店者数300万人記念達成	P.6
12	前橋市広報ブランド戦略課	移住・まちの案内人と歩く前橋めぐり	P.6
13	群馬県立歴史博物館(高崎市)	第113回企画展 世界遺産 縄文	P.7

## 今月の同封資料

No.	情報提供元	内 容
1	群馬県立土屋文明記念文学館(高崎市)	文学講座「賢治と朔太郎、くらべ読み」
2	道の駅まえばし赤城(前橋市)	デカ盛りグルメフェア
3	〃	まえばしいちごフェスティバルーin 道の駅まえばし赤城ー
4	原美術館ARC(渋川市)	展覧会「虹のつくり方」
5	〃	展覧会「安藤正子:普通の日々」
6	高崎市榛名支所	第14回榛名山ヒルクライムin高崎
7	高崎市箕郷支所	第39回みさと梅まつり
8	群馬県立日本絹の里(高崎市)	企画展「草乃しずか 日本刺繍展ー源氏物語を花で装うー」
9	尾島ねぶたまつり実行委員会(太田市)	尾島ねぶたまつりクラウドファンディング挑戦中!

### 情報のお問合せ、ファイルや画像のご請求はこちらへどうぞ

#### 群馬県東京事務所 政策調整第二係

E-mail : g-info@pref.gunma.lg.jp

電話 : 03-5212-9106 FAX : 03-5212-9103

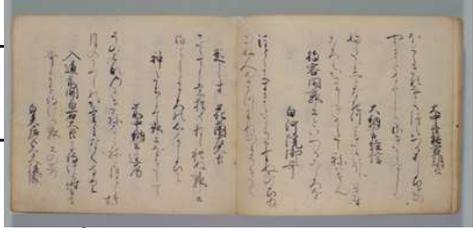
所在地 : 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館8階 群馬県東京事務所  
(東京メトロ有楽町線・半蔵門線・南北線 永田町駅から徒歩約1分)

# 群馬県立土屋文明記念文学館 特別展示【高崎市】

## 「古今和歌集」「新古今和歌集」写本公開

- ◆当館所蔵の「古今和歌集」及び「新古今和歌集」写本を特別公開します。
- ◆「古今和歌集」は平安時代に編纂されましたが、本写本は室町時代前期頃のものと考えられ、見返しと後見返し部分に絵画作品がある大変珍しい資料です。
- ◆「新古今和歌集」は鎌倉時代初期に編纂されましたが、本写本は鎌倉中期～後期頃のものと考えられ、現存する写本の中でも大変古く貴重なものです。
- ◆今回、期間限定でこれらの貴重資料を展示します。また、写本の全ページのデジタル画像も公開します。

【当館HP】<https://bungaku.pref.gunma.jp/>

日時	令和8年2月7日(土)～3月8日(日) 午前9時30分～午後5時	
場所	土屋文明記念文学館 常設展示室	
交通	関越自動車道前橋ICから約15分 高崎駅からバス	
担当	土屋文明記念文学館 (Tel 027-373-7721) 学芸係 神戸	
		伝世尊寺定成筆「新古今和歌集 上」写本

# 群馬県立土屋文明記念 文学講座【高崎市】

## 「賢治と朔太郎、くらべ読み」

第8回目の開催となる今回は、講師に詩人・作家の小池昌代氏をお招きし、「賢治と朔太郎、くらべ読み」と題してご講演いただきます。

- ◆日時：3/15(日) 14時～
- ◆会場：土屋文明記念文学館研修室
- ◆定員：150名。先着順・要事前申込（参加には当日の常設展観覧券が必要）
- ◆申込受付は2/8(日) 10時～  
当館ホームページ内の「イベント申込フォーム」または往復はがきで申込

【当館HP】<https://bungaku.pref.gunma.jp/>

日時	令和8年3月15日(日) 午後2時～3時30分	
場所	土屋文明記念文学館 研修室	
交通	関越自動車道前橋ICから約15分 高崎駅からバス	
担当	土屋文明記念文学館 (Tel 027-373-7721) 学芸係 伊藤	
		文学講座バナー

# 【大好評につき期間延長!!】デカ盛りグルメフェア 【前橋市】

衝撃のボリューム!!道の駅まえばし赤城で「デカ盛り」を体験せよ!!

大好評につき、「デカ盛りグルメフェア」を3月31日（火）まで延長!!期間限定メニューとして、各店舗から自慢のデカ盛りグルメが大集合!

お魚がたっぷり乗った“ギガ”盛り丼や“たかーく”積まれたバーガー、赤城山を模した“赤城山級”スイーツまで道の駅グルメがスケールアップ!!道の駅まえばし赤城自慢のグルメを、お腹いっぱい満足するまで食べまくりましょう!

一人でチャレンジするもよし、みんなで分け合って食べるもよし。ぜひ、道の駅まえばし赤城で「デカ盛り」を体験してください!

日時	2025年12月1日（月）～2026年3月31日（火）各店舗の営業時間内で販売
場所	道の駅まえばし赤城 各店舗
交通	関越道 渋川伊香保ICから約10分
担当	道の駅まえばし赤城 北村（027-233-0070）



(写真の説明)

## まえばしいちごフェスティバル -in 道の駅まえばし赤城-【前橋市】

この春、最高の一粒を体験しませんか?

各店舗の職人たちが、今まさに旬を迎えるフレッシュないちごを使い、趣向を凝らした新メニューを考案! 昨年とは一味違う、ここでしか出会えない驚きとおいしさが一品一品に詰まっています。

すべてが『道の駅まえばし赤城』だけの完全オリジナルメニュー。この春、最高の一粒を体験しませんか?

また、まえばしいちごフェスティバル期間中に限定イベントも開催いたします。

日時	2026年2月1日（日）～2月28日（土）各店舗の営業時間内で販売
場所	道の駅まえばし赤城 各店舗
交通	関越道 渋川伊香保ICから約10分
担当	道の駅まえばし赤城 北村（027-233-0070）



(写真の説明)

## 展覧会「虹のつくり方」【渋川市】

原美術館が原美術館“ARC”という虹に至るまでの軌跡を辿る

1979年、まだ日本には現代美術の専門館が少なかった時代に、その先駆けとして原美術館は開館しました。本展は、その1979～1990年の活動にスポットを当てます。それはいわば「原美術館創成期」。当時の世界的な作家の個展や、若手支援の展覧会「ハラアニュアル」を開催し、旧邸宅ならではの空間を活かした常設インスタレーション作品がこの時期に初めて登場しました。ゼロから立ち上げられた美術館開館当初の勢いを、現代美術に魅せられた創設者の原俊夫によって収集され続けている唯一無二のコレクションで辿ります。現在の原美術館ARCへと至る虹のような軌跡を映し出す、全3回（毎年春夏季に開催予定）の展覧会の、記念すべき第1回目です。

<https://www.haramuseum.or.jp/jp/arc/exhibition/2170/>

日時	2026年3月14日（土）から9月6日（日） 休館日：木曜日（8月中無休） *3月13日（金）まで冬季休館	
場所	原美術館ARC ギャラリーA、B、C	
交通	上越／吾妻線「渋川駅」よりバスにて約15分、「グリーン牧場前」下車、徒歩約7分。お車の場合、関越自動車道「渋川・伊香保I.C.」より8km、約15分。	
担当	原美術館ARC 岩村（本展担当）、坪内、山川	

ジャクソン ポロック《黒、白、茶》  
1952年 カンヴァスに油彩 91 x 70cm

## 展覧会「安藤正子：普通の日々」【渋川市】

安藤正子の現在地を観る展覧会

2026年3月より、原美術館ARCでは、特別展示室・観海庵において「安藤正子：普通の日々」展を開催いたします。小さな楽焼約150点によるインスタレーション『ニューノーマル』（2024年）を中心に、新作の油彩画を含む、絵画や映像を、和の設えの展示室、観海庵（かんかいあん）と呼応させ、小規模ながらも安藤の現在地を観ることのできる機会といたします。

<https://www.haramuseum.or.jp/jp/arc/exhibition/2171/>

日時	2026年3月14日（土）から9月6日（日） 休館日：木曜日（8月中無休） *3月13日（金）まで冬季休館	
場所	原美術館ARC 特別展示室 観海庵	
交通	上越／吾妻線「渋川駅」よりバスにて約15分、「グリーン牧場前」下車、徒歩約7分。お車の場合、関越自動車道「渋川・伊香保I.C.」より8km、約15分。	
担当	原美術館ARC 坪内（本展担当）、岩村、山川	

安藤正子《ニューノーマル》2024年  
陶土、釉薬 サイズ可変 ©Masako Ando

## 第14回榛名山ヒルクライム in 高崎【高崎市】

ベテランもビギナーもキッズも榛名山で脚だめし！

群馬県高崎市の榛名山を舞台にした『第14回 榛名山ヒルクライムin高崎』を5月10日（日）に開催します。

毎年4,000人を超える参加者が自転車で榛名山を駆け上り、爽快感と地元の温かなおもてなしを味わえる通称「ハルヒル」。コースはレベルに応じて、ビギナー向けの「初心者コース」・パワースポットとして有名な榛名神社を目指す「榛名神社コース」・そして最大勾配14%の激坂に挑み榛名湖を目指す「榛名湖コース」など、3コースをご用意しています。

初心者コースにはレンタルも出来るe-bike部門も準備し、全コースふるさと納税エントリーも受付中です。老若男女問わずご参加をお待ちしております。

エントリー期限は【3月23日（月）】まで。

<https://www.haruna-hc.jp/>

日時	◆令和8年5月10日（日）	 <p>レーススタートの様子</p>
場所	◆高崎市榛名地域(主会場：榛名体育館) 群馬県高崎市上里見町453番地	
交通	◆電車：JR高崎駅西口よりバス30分徒歩10分 車：関越自動車道 高崎ICから約30分	
担当	◆高崎市榛名支所地域振興課 清水 027-374-6715	

## 第39回みさと梅まつり【高崎市】

観梅だけではなく、地元食材である「梅」の味もお楽しみください

東日本一の梅の産地、高崎市に位置する箕郷梅林で、今年も梅の開花にあわせて「みさと梅まつり」を開催します。

開催期間中、箕郷梅林では約10万本の梅の花が関東平野を一望する丘陵を雲海のように純白に埋めつくし、絶景と甘酸っぱい梅香を楽しむことができます。また、地元特産の梅製品や農産物などの売店や様々なキッチンカーが出店する予定です。

昨年に引き続き、梅まつり開催に合わせて箕郷町内の小中学校の給食、市役所地下食堂や梅まつり出店キッチンカー等と連携し、各所で梅を使用したメニューを提供する梅グルメの企画を実施します。観梅だけではなく、地元食材である「梅」の味もお楽しみください。

入場料：無料

駐車場（400台駐車可能）：普通車500円 大型車1,000円 バイク100円

日時	◆令和8年3月1日（日）～3月下旬（9時～16時）	 <p>箕郷梅林の様子</p>
場所	箕郷梅林 ◆高崎市箕郷町富岡『みさと梅公園』周辺 ◆高崎市箕郷町善地『箕郷梅林善地イベント広場』周辺	
交通	◆電車：JR高崎駅よりバス約30分「箕郷営業所」下車後、タクシー約10分 ◆車：関越自動車道 前橋ICから約30分	
担当	◆高崎市箕郷支所産業課 (TEL：027-371-9065)	

# ナゾトキクエストinぐんま三大梅林2026 【高崎市・安中市】

## ナゾトキクエストinぐんま三大梅林2026

高崎市の榛名・箕郷梅林、安中市の秋間梅林を舞台に、地域内に隠された宝の合言葉を探す謎解き宝探しイベントを開催します。ぜひご参加ください。

### 【参加方法】

- (1) 参加冊子入手
- (2) 参加冊子にある謎を解いて、宝箱パネルの場所を探し出し、パネルに記載された「宝の合言葉」を参加冊子にメモ
- (3) 「宝の合言葉」を、指定場所で配布される応募抽選用紙に記入し報告
- (4) 見事正解した方から抽選で素敵な賞品をプレゼント！

### 【参加冊子配布場所】

高崎駅観光案内所、県内SA・PA、県内道の駅等

### 【特設サイト】

<https://bouken-works.co.jp/event/gunmabairin2026/>



ポスター

日時	◆令和8年2月14日（土）～3月22日（日）
場所	◆榛名梅林周辺（高崎市上里見町） ◆箕郷梅林周辺（高崎市箕郷町） ◆秋間梅林周辺（安中市西上秋間）
交通	◆車：関越自動車道・上信越自動車道の最寄ICから約15～30分 ◆電車：JR安中榛名駅・高崎駅からバスで約10～45分
担当	◆群馬県 高崎安中振興局 高崎行政県税事務所 総務振興係 (TEL 027-322-4681)

## 群馬県立日本絹の里 企画展【高崎市】

### 「草乃しずか 日本刺繍展 -源氏物語を花で装う-

情感あふれる豊かな色彩表現で多くの作品を発表し、人々を魅了している日本刺繍作家・草乃しずかさんの作品を紹介します。「花で装う」をテーマに、源氏物語の姫君たちの心を着物に刺繍で表現した作品や、女性の一生を桜の刺繍で彩った作品などをご覧ください。艶やかな絹糸が魅せる美しい作品の数々をご堪能ください。

<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>



(チラシ)

日時	◆会期：令和8年4月11日（土）～5月31日（日） ◆開館時間：9時30分～17時 ◆休館日：火曜日 ※5月5日（火・祝）は開館
場所	◆群馬県立日本絹の里（群馬県高崎市金古町888-1）
交通	◆電車：上越・北陸新幹線 高崎駅からバスで約30分 ◆車：関越自動車道 前橋ICから約20分
担当	◆群馬県立日本絹の里（担当：竹内）Tel. 027-360-6300

# かねふくめんたいパーク群馬来店300万人を達成

かねふく めんたいパーク群馬 来店者数300万人記念達成

甘楽町にて2022年4月にオープンした、明太子の老舗かねふくが運営するめんたいパーク群馬が2026年2月14日に来店者300万人を達成いたしました。

当日は300万人達成記念セレモニーを開催し300万人目のお客様とくす玉割りや記念品の贈呈を行い、タラピヨ・タラコン博士、かんらちゃん、お富ちゃんとの記念撮影も行いました。

さらに来店者300万人達成を記念して2月14日から2月23日まで福引大会を開催するほか、期間中土日祝日限定でストラックアウトも行います。

<https://mentai-park.com/gunma/>

日時	2026年 2月14日～2月23日	 <p>ご来場お待ちしております！</p>
場所	かねふく めんたいパーク群馬	
交通	上信越道 甘楽スマートICより車で約6分	
担当	山本	

# 移住・まちの案内人と歩く前橋めぐり【前橋市】

まちなかで開業したオーナーを訪ねて回る少人数ツアーを開催

本市では、移住検討者や、地方での開業に興味がある人を対象に、まちなかの雰囲気を感じることができる少人数ツアー「移住・まちの案内人と歩く前橋めぐり」を開催します。まちなかで開業を支援するマチスタントと、移住・定住分野担当の地域おこし協力隊が案内人となり、マチスタントの支援を受けて開業した店舗と、厳選したスポットを回ります。



<https://www.city.maebashi.gunma.jp/promotion/live/47968.html>

日時	令和8年3月8日(日) 13時～15時30分	 <p>チラシ</p>
場所	集合 ルルルなビール (群馬県前橋市本町2-1-12)	
交通	JR前橋駅から徒歩15分	
担当	前橋市役所 広報ブランド戦略課 (TEL 027-898-6971) 吉田	

# 群馬県立歴史博物館 第113回企画展 世界遺産 縄文【高崎市】

この冬、サステナブルな縄文世界を探求してみませんか。

今から約16,000年前に始まった縄文時代。縄文人は狩猟や漁労、採集などを行い、定住をして暮らしていました。こうしたライフスタイルが1万年以上も続いたのは世界的に見ても大変ユニークです。

本展では、2021年に世界文化遺産に登録された「北海道・北東北の縄文遺跡群」の出土品を中心に、国宝「中空土偶」や多数の遮光器（しゃこうき）土偶、さらに豊富な貝塚出土資料など北に花開いた縄文文化を紹介します。

また、群馬を代表する縄文時代遺跡の桐生市千網谷戸（ちあみがいと）遺跡出土品（国重文）も併せて展示します。

（一般1000円、大学・高校生500円、中学生以下無料）  
【当館HP】 <https://grekisi.pref.gunma.jp/>



日時	◆2026年1月17日（土）～3月8日（月） 9時30分～17時（入館は16時30分まで）	
場所	◆群馬県立歴史博物館（高崎市綿貫町992-1）	
交通	◆車：上信越自動車道「藤岡IC」より約10分。 関越自動車道「高崎玉村スマートIC」より約10分。 北関東自動車道「前橋南IC」より約15分。 アイ・ディー・エー群馬の森公園の大駐車場を利用（無料）。 ◆電車：JR高崎駅よりバスで約25分。	
担当	◆群馬県立歴史博物館（027-346-5522） 学芸係 石田	

遮光器土偶  
（手代森遺跡、文化庁蔵、  
岩手県立博物館保管）  
（写真提供：岩手県立博物館）